

令和5年度 第2回 江別市スポーツ推進審議会

日時:令和5年11月13日(月)14時00分～

場所:江別市教育庁舎 1階大会議室

- 次 第 -

- 1 開会
- 2 教育委員会あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 報告事項
 - (1)体育施設使用料の小中学生無料化について
 - (2)令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について
- 5 審議事項
 - (1)第7期江別市スポーツ推進計画(案)に係るパブリックコメントの結果及び第7期江別市スポーツ推進計画(案)の審議について
 - (2)第7期江別市スポーツ推進計画の諮問に対する答申(案)について
- 6 その他
- 7 閉会

報告事項(1)

体育施設における小中学生使用料の検討について

子どもが気軽にスポーツに親しめる場を提供することで、子どもの体力・運動能力の向上、健康増進を図ることを目的に、体育施設使用料のあり方について財政当局と協議を進める。

1 理由

コロナ禍前の平成30年度とコロナ禍後の令和4年度の市内小中学生の体力調査の結果を比較すると、どの年代・性別においてもコロナ禍前を下回る結果となっていることから、子どもの体力・運動能力の向上を図る必要がある。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査結果より（体力合計点）

	H30	R1	R2	R3	R4	R4-H30
小学5年男子	54.40	53.61	未 実 施	52.38	52.42	▲1.98
小学5年女子	55.35	55.25		54.08	54.66	▲0.69
中学2年男子	43.09	43.83		41.24	41.40	▲1.69
中学2年女子	50.08	49.39		46.44	47.47	▲2.61

体育施設における小中学生利用者数の推移（人）

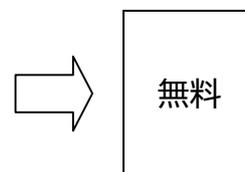
	H30	R1	R2	R3	R4	R4-H30
4体育館※	36,733	25,983	18,875	16,785	25,891	▲10,842
青年センタープール	3,245	3,126	1,438	1,645	3,110	▲135
パークゴルフ場	102	140	92	62	82	▲20
計	40,080	29,249	20,405	18,492	29,083	▲10,997

※4体育館＝市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館

2 検討案

(1) 料金について

施設	小学生個人使用料金	中学生個人使用料金
4体育館	1回 40円	1回 40円
青年センタープール	1回 80円	1回 100円
パークゴルフ場	18ホール 70円(1日140円)	18ホール 70円(1日140円)



※無料化に伴い、定期券、プール回数券は廃止となる。

(2) 影響額について

対象施設の小中学生個人使用料金（令和4年度実績） 約1,170,000円

(3) 今後のスケジュールについて

令和6年第1回定例会市議会に「体育施設条例の一部改正」の議案を提出予定
施行日については、令和6年5月1日を予定

報告事項(2)

令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催結果について

1 大会概要

(1)日 程	令和5年7月22日(土)～8月21日(月)		
(2)場 所	道内19市町、山形県、栃木県、和歌山県		
(3)来 場 数	選 手	27,442人	
	監督コーチ	8,519人	
	観客延べ	402,584人	計 438,545人 ※現時点で未確定

2 江別市開催競技

(1)ホッケー

日 程	令和5年7月29日(土)～8月2日(水)		
会 場	野幌総合運動公園人工芝ホッケー場 ※ほか、北海学園札幌高等学校、札幌ドームでも開催		
来 場 数	選 手	707人	
	監督コーチ	88人	
	観客延べ	7,360人	計 8,155人

(2)水泳(競泳)

日 程	令和5年8月17日(木)～8月20日(日)		
会 場	野幌総合運動公園水泳プール		
来 場 数	選 手	1,618人	
	監督コーチ	776人	
	観客延べ	5,248人	計 7,642人

パブリックビューイング

時 間	9時30分～18時00分(最終日は17時00分)		
場 所	江別市セラミックアートセンター エントランスホール		
来場数	4日間で計573人 (17日:161人、18日:186人、19日:115人、20日:111人)		

3 輸送支援

(1)臨時列車

期 間	8月17日(木)～8月20日(日)		
運 行	①5時50分(札幌)～6時10分(野幌) ②6時06分(札幌)～6時26分(野幌)		

(2)シャトルバス

期 間	8月17日(木)～8月20日(日) 朝6時15分～7時30分		
運 行	野幌駅→運動総合運動公園(無料シャトルバス)		
利用実績	4日間で計29台、884人 (17日:230人、18日: 229人、19日: 219人、20日: 206人)		

審議事項(1)

第7期江別市スポーツ推進計画（案）に対する意見公募（パブリックコメント）の結果について

1 意見の募集結果

- (1) 募集期間 令和5年9月1日（金）から令和5年10月2日（月）まで
(2) 配置場所 16ヶ所
・教育委員会スポーツ課（教育庁舎2階）
・本庁舎1階情報公開コーナー ・情報図書館 ・大麻出張所
・水道庁舎証明交付窓口 ・市民交流施設「ぷらっと」
・豊幌地区センター ・市民会館 ・各公民館（3館）
・各体育館（4館） ・江別市総合社会福祉センター
(3) 提出者数 1人
提出意見 1件

2 意見概要と市の考え方

(1) 考え方の区分

取扱区分	意見の反映状況
A	意見を受けて案に反映するもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案の変更はないが、今後の参考等とするもの
D	案に反映しないもの
E	その他の意見

(2) ご意見の概要と市の考え方

寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
江別市の公立学校は体育の授業でインドアスポーツ、とりわけバスケットボールに力を入れているように感じます。先日、バスケットボール日本代表がパリ五輪の出場決定権を獲得しました。この流れに乗って、バスケットボールをメジャーなスポーツにしていく流れが広まればよいと思います。有名なバスケットボール選手を学校によぶことも、生徒にとっては、よい刺激になるでしょうね。	市では、青少年を含めた市民とトップアスリートとの交流を推進しています。バスケットボールにおいても、北海道のプロチームと令和4年度に連携協定を結び、選手による学校訪問や小学校へのボール寄贈などが実現しています。今後もトップアスリートとの交流機会の提供について、推進して参ります。	B

審議事項(2)

(案)

答 申 書

令和5年12月 日

江別市教育委員会

教育長 黒川 淳 司 様

江別市スポーツ推進審議会

会長 古川 孝 行

第7期スポーツ推進計画の策定について(答申)

令和4年12月22日付で諮問のありました「第7期江別市スポーツ推進計画」の策定について、次のとおり答申いたします。

記

本計画の策定にあたっては、基本方針や施策推進の方向性、取組内容について、慎重に審議を行い、別添のとおり計画案をとりまとめました。

今日、少子高齢化が進み、スポーツを「する」方、「ささえる」方が少なくなっていることで、色々な場面でスポーツ・運動環境を維持することが難しくなっており、その対応が求められています。

本答申はこうした社会変化を踏まえ、現在、策定が進められている、第7次江別市総合計画との整合性を図りながら、これまでのスポーツ推進政策における取組の継承と、本計画の基本方針である、だれもが健康で心豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ社会を目指すことが必要であるとの認識に基づいて立案したものです。

当該計画に基づく事業実施にあたっては、市民が「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツを楽しむ環境を整え、スポーツで未来につながる「健康都市えべつ」の実現に努められるよう期待いたします。